

800 年代

当時この当時現在の場所に寶蓮寺が誕生（臨濟宗）

1469（文明元）年

寶蓮寺はこれ以前は臨濟宗の禪室だったが、  
文明（1469～1487）のころ蓮如上人の弟子  
であった天然師が豊後の国（現大分県專想寺）で  
浄土真宗の教えを広められているのを聞きつけ、  
当時の住職であった龍玄師が、大分におもむき  
天然師の話聞き、浄土真宗の教えこそ真実であるとし、  
宗を改め浄土真宗となる。

初代住職 釈 龍玄

二代住職 釈 浄安

三代住職 釈 了雲

四代住職 釈 法道 以上四代は往生年月不詳

1708（宝永五）年

五代住職 釈 西雲 七月二十日往生

西雲師は本堂を建立し、庫裏も建てる

1727（享保十二）年

六代住職 釈 閑柳 十一月六日往生

1736（享保二十一）年

七代住職 釈 諦卯 十一月三日往生

1751（宝暦元）年

八代住職 釈 泰道 十二月三日往生

1792（寛政四）年

九代住職 釈 廓忍 十二月十七日往生

坊主は宮司の真光寺より 1774 年、台風にて本堂・庫裏転倒  
1774 年に本堂建立（現存の本堂）天明二年より八年間  
「天明の大飢饉」

1802（享和二）年

十代住職 釈 大道 四月二十三日往生  
遠賀郡行満寺より入寺

1837（天保八）年

十一代住職 釈 真海 七月七日往生  
豊前国上毛郡 法円寺より入寺  
現在の本堂の祖師・蓮師のご影はこの時代に書かれる

1886（明治十九）年

十二代住職 釈 義龍教師 九月二十一日往生  
本願寺補教 坊守は遠賀郡香月村照円寺より

1907（明治四十）年

十三代住職 釈 栖真 七月往生  
那珂郡片縄の専光寺より入寺  
明治十五年 大石の赤間勝蔵氏と協議し、鐘楼新築  
明治十九年 本堂修復  
明治三十二年三月 蓮如上人四百回遠忌法要

1937（昭和十二）年

十四代住職 釈 秀道 十一月三日往生

小倉の古法寺より入寺 坊主は直方の西徳寺より  
明治四十年七月 秀道師 十四代住職となる。

#### 2000（平成十二）年

十五代住職 釈 真龍 一月六日往生  
龍谷大学卒業後  
直方の西徳寺で役僧を務める  
三十歳の時父秀道往生後、住職に就く  
坊守 宮司の真光寺より 光子  
親鸞聖人七〇〇回大遠忌法要勤修  
昭和三十九年 本堂瓦修復  
昭和四十三年 鐘楼改築  
（花田茂四郎・赤間克枝門・畑中竜樹氏の寄進による）  
昭和四十五年 納骨堂建立二基  
昭和五十三年 庫裏新築

#### 2001（平成十三）年

十六代住職 釈 玄瀛 一月六日往生  
龍谷大学卒業後  
宗像地区で二十八年間中学校に勤務  
平成元年 住職に就く  
平成2年 組織法要  
納骨堂建立・駐車場・北側斜面の整備を行う  
坊守 福岡市西宗寺より 悦子 昭和三十七年  
平成十一年 蓮如上人五百回忌遠忌法要

#### 2002（平成十四）年

十七代住職 釈 一乗  
龍谷大学卒業後  
粕屋・宗像地区で十一年間中学校に勤務  
坊守 篠栗町 真光寺より純子 平成元年  
平成十三年 六月 十七代住職に就く

2008（平成二十）年六月十四日

新本堂完成

2008（平成二十）年十月十二日・十三日

本堂落慶・住職継職法要勤修